

中島邦雄* 琉球植物覚書(四)

Kunio NAKAJIMA*: Notes on the Flora from Ryūkyūs (4)

(23) シロミルスベリヒユ (新変種, Fig. 12, whole plant Fig. 13, flowers) 琉球列島の海岸岩上, 砂上や海岸近くの路傍などに基種に比べ全体小型で帯赤色とならず, 白花を咲かせるミルスベリヒユがある。ところによっては基種と混植するが中間型がみられない。多和田(沖縄生物学会誌, 1: 77, 1964)も指摘しているように, バラ色の花を咲かせる基種より花径も幾分小さい。筆者は1966年4月, 南北両大東島を採集した際同島では殆んどが白花品であった。その後各島のものを見た結果新変種と考えたい。ミルスベリヒユは花がバラ色だけでなく, 茎や花, 葉柄等が赤味がかり, 葉もより広く濃緑色となる。また標本にすると黒色となる。本品の葉は海水を直接受けるところでは円筒状となり, そうでない所のは巾が広くなり, 標本にすると褐色となる。沖縄における発見者多和田氏に献名し, 和名をシロミルスベリヒユ(新称)としたい。本品の全草は基種同様に, 食用となる。本種を研究するにあたり S. A. PEARCE (Royal Botanic Gardens, Kew), 初島住彦, 多和田真淳および文献閲覧の便をお与え下さった伊藤洋, 久内清孝の各氏のご援助を賜った。

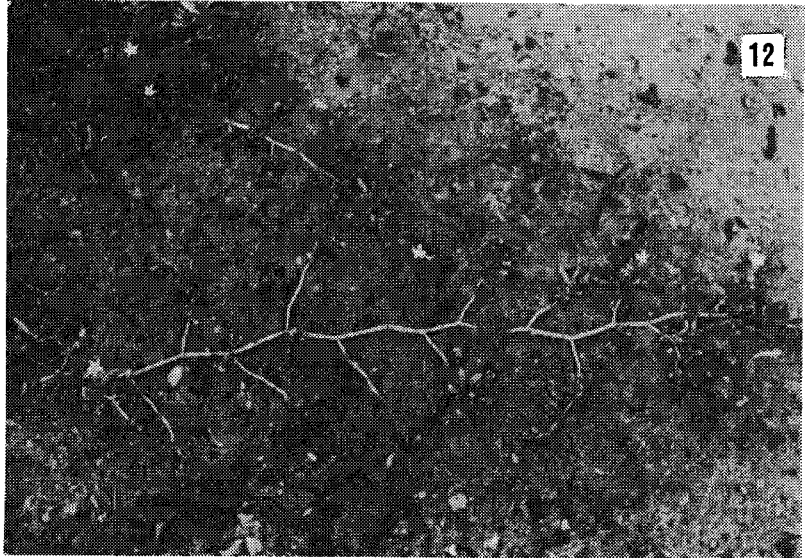


Fig. 12. シロミルスベリヒユ (全草) Whole plant of *Sesuvium portulacastrum* var. *Tawadanum* at type locality x ca 0.2

* 明治山植物園 Meiji-yama Botanical Garden (MEBG), Kube, Okinawa.

(24) オトメオキナワキョウチクトウ (新品種) 今日までオキナワキョウチクトウ (ミフ

クラギ) の花色異品を見聞したことがなかった。今回、園原咲也氏にご教示いただいたものは、花色が美しい淡桃色の異品である。花冠各部の色彩を明記すると、蕾および花弁裏面は濃桃、表面は淡桃、花筒口部は基種より美しい紅色である。沖縄本島、名護町東江 (アガリエ) の巨木に咲き乱れる白花とはまた変わった趣である。本品は基種より個体数が少い。わざわざ産地にご案内下さった園原先生と調査した結果10株内外であった。発見者を記念し、和名を花色に因んでオトメオキナワキョウチクトウ (新称) とした。



Fig. 13. シロミルスベリヒユ (花) Flowers of *Sesuvium portulacastrum* var. *Tawadanum* x ca 1.0

(25) クイタビ (新産地, Fig. 14) オオイタビの果のうが広倒卵形で美味なものがある。今日まで沖縄から記録はなかったが、1967年10月から各地で採集したのでここにまとめておく。沖縄産のクイタビを牧野標本館の水島正美博士に送付した結果、果のうが広倒卵形である以外、オオイタビと区別がつかず、クイタビ (一名、ワセオオイタビ) の名が既にあり、中間の型があるところから学名がつけられずにあった形ということが判明した。沖縄産のものに、まだ中間の型を見出していない。文献によれば、この型のものが奄美大島や台湾からも記録され、既知のごとく牧野新日本植物図鑑にも記されてある。

(23) *Sesuvium portulacastrum* (L.) LINN. var. *tawadauum* NAKAJIMA, var. nov. (Ficoidaceae)

Planta parva, non violascens. Folia 1.5cm-4.0cm longa, 3mm-8mm lata. Flores pedicellati, pedicelli 5mm-10mm longi, albi, flospatens ca. 8mm-10mm diametro. Cetera ut in typico.

Nom. Nipp. Shiro-mirusberihyu. (n. n.)

Hab. Ryukyus, Okinawa: Prov. Nakagami, on sunny sandy place a salt-field near the seashore at Awase (Jun. 8, 1967, NAKAJIMA!—typus in Herb. Kew, Greet Briten, co-typus in MEBG.), Prov. Daito (Is.), N. Daito-jima (NAKAJIMA! —Apr. 24, 1966.). Prov. Kume-jima. Prov. Ishigaki et Iriomote ins.

Distr: Endemic.

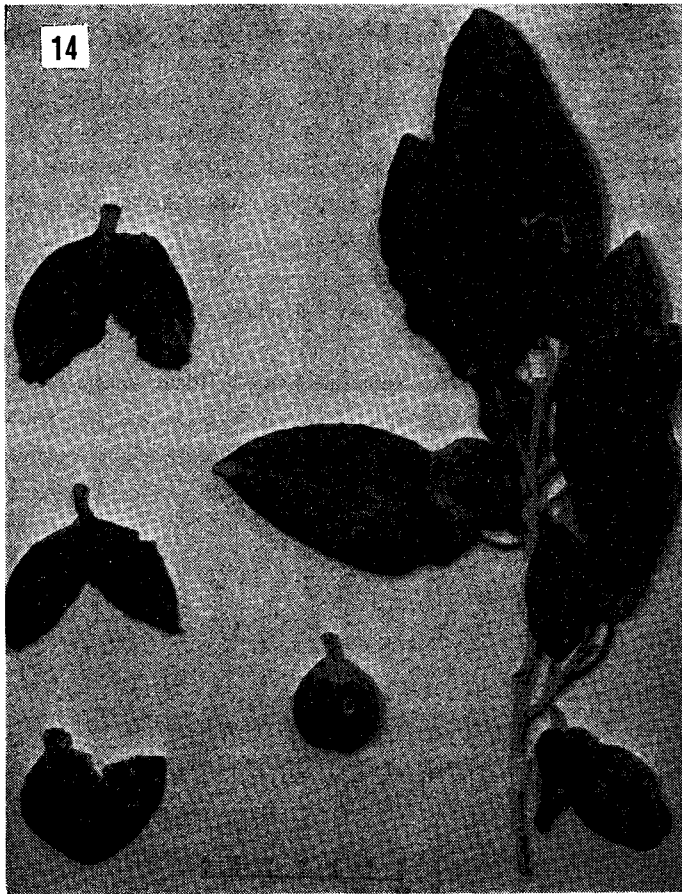


Fig. 14. クイイタビ *Ficus pumila* in Okinawa Isls.

(24) *Cerbera manghas* LINN. form. *Sakuyana* NAKAJIMA, form. nov.
 Flores albo-rosei. Cetera ut in typo. (Apocynaceae)

Nom. Nipp. Otome-okinawa-kyochikutô. (n. n.)

Hab. Okinawa: Prov. Kunigami, on river side near Shiokawa, Sakimotobu (S. SONOHARA et NAKAJIMA! Sep. 22, 1968.—typus in MEBG.)

Distr.: Endemic.

(25) *Ficus pumila* LINN. (Moraceae)

Nom. Nipp. Kui-itabi (Wase-ôitabi).

Hab. Okinawa : Prov. Kume-jima (K. KIKUZATO!), Prov. Shimajiri, Shuri (NAKAJIMA! Apr. 30, 1968 ; S. TAWADA!, A. TAKUSHI), Prov. Nakagami, Kadena (A. TAKUSHI!), Prov. Kunigami, Meiji-yama (NAKAJIMA!, Fruit small—Sep. 19, 1968), Ohkawa (Kushi) (NAKAJIMA!—Nov. 19, 1968), Mt. Nago-dake (NAKAJIMA!—Nov. 19, 1968), Mt. Nago-dake (NAKAJIMA!—Nov. 19, 1968), Mt. Hedonishiyama (S. SONOHARA et NAKAJIMA!—Oct. 13, 1968), Nakasone (NAKIJIN) (S. SONOHARA et NAKAJIMA!—Oct. 9, 1967), Yabu (YABU) (S. SONOHARA et NAKAJIMA!—Oct. 9, 1967 ; Herb. in MEBG),
